

「STOP 退学」 ～ギャップ解消とモチベーションUP～

F班3グループ
到着!!大学救命チーム

Outline

テーマ設定の背景
退学について
退学の原因
問題への対応策
期待される成果
まとめ

テーマ設定の背景

なぜ、退学を問題に設定したのか

・ブレインストーミング



一番多く課題に挙げた
(実際に増加傾向が見られる)

= 大学に求められているものが変わった？

退学について

- ▶ 積極的退学
進路変更
- ▶ 消極的退学
金銭的理由
修学意欲の喪失
→ 今回はこの原因を掘り下げる

退学の原因

原因

①授業のギャップ

→ 修学意欲がある学生の期待と現実との差

②学生のモチベーション・コミュニケーション

→ 大学への期待が薄い学生が陥りやすい

→ 大学内での存在価値が見出せない

①授業のギャップ: 対応策

・シラバスのWEB履修とリンク

⇒ 授業アンケート: 第1回授業終了後

→ シラバスと合致しているかの確認

・先生からの外的要因

⇒ 授業評価: 最終授業終了後

→ 評価のいい先生の授業を見学

・履修取消者数のカウント

→ 取消者データ

* シラバスの質保証: 次回課題

①期待される成果

- ・シラバスのWEB履修とリンク
 - ギャップを生じにくくする
 - 授業の参加率上昇
 - 自分に合った授業を選べる
- ・先生からの外的要因
 - 授業改善
- ・履修取消者数のカウント
 - 教員の意識化

②学生のモチベーション・コミュニケーション:対応策

- ・近い目標
 - 友人関係(クラブ・サークル、クラス懇談)
 - 授業内での目標設定提出→意識化させる
- ・将来的な目標
 - 自己啓発冊子を配布し、学生に周知する
- ・目標達成に向けて
 - 学生相談員の導入

②期待される成果

- ・近い目標
友人関係:情報や悩みの共有ができる
授業内での目標設定を提出:授業を通して、各自で自身の達成度や問題点を把握できる
- ・将来的な目標
自己啓発冊子:自分の将来像の具現化を図るとともに、大学4年間の過ごし方を提案
- ・目標達成に向けて
学生相談員の導入:スムーズな学生生活への移行

まとめ

対応策を試行することで

- ・授業のギャップ解消
- ・学生のモチベーションアップ
- ・コミュニケーションによる存在価値の確立



- ・学生の自主性を育み、社会に輩出する
- ・人的ネットワークの構築